

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日: 令和 元年 11月 11 日

公表: 令和 2年 1月 14日

事業所名 放課後等デイサービス 木葉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			
	2	職員の配置数は適切である	10			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・通われている利用者さんのレベルにあったバリアフリーになっている。 ・スロープ等なし。 ・ソフト面での気配りは随所にみられる。 ・段差があるが、付き添いをしている。 ・バリアフリー化されていない所もあり、声かけにて対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が付き添い対応させて頂いています。また、声かけをさせて頂いています。 ・荷物の置き場所にも気をつけています。 ・今後も必要に応じて対応出来るようにしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を職員で共有し、改善案を話し合っている。 ・評価表を参考に職員内で検討し、周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果だけでなく、改善案も同時にホームページに公開しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで、アンケート結果や予定表などの公開をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	9		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修の紹介がある。 ・研修に参加する。 	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて面談支援を行う。 	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・会議を行い、周知する。 	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのやりたい事を取りいれている。 ・予定表作りで活動が偏らないようにする。 	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を行い、1日の業務を職員で共有している。 ・担当者を決め、行う。 	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		<ul style="list-style-type: none"> ・気づいた点は上司に直接言ったりしています。 ・気づいた点は業務日誌に記入しておく。 	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・利用日に必ず記録をとり終えるようにしている。 	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10		<ul style="list-style-type: none"> ・随時。 	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	10			
関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・学校から直接情報が得られる場合は特別トラブルは発生していない。 ・様々な連絡ツールを使用し、連絡調整をしている。 ・学校行事の予定表を提示して頂く場合と保護者の方との相談及び連絡。 	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		10	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ事例がない。 ・事例なし。 ・医療ケアの利用者なし。 	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートブック等があればそれを情報とするが、直接やりとりはない。 ・相談員からの情報収集。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からも情報収集していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて対応。 	

の連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントに参加経験有。 ・児童クラブ等はないが、外出の際にかかわる程度なら有。 ・行事としては無いが、外出時に必要に応じて対応。 	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10		・担当者が参加。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		・面談、支援計画、活動記録票参考。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		・契約時及び随時。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		・面談時及び随時。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7	・父母会などはしていない。	・本業では父母会などの予定はしておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10		・受け入れ窓口にて対応。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1	・会報不定期、リーフレット発行。	
	35	個人情報に十分注意している	10			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	2	・施設を会場とし、地域イベントに参加。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を行っている。 ・年1回利用者と避難訓練実施。 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に虐待に関するミーティングを行っている。 ・研修や勉強会を開いている。 ・勉強会及びミーティング。 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・事例なし。 ・身体拘束の利用者無し。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から説明、フェイスシートで確認し、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーがある利用者様をフェイスシート等で把握している為 まず、経口摂取をする事が無いようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			